

# ★子宮頸がん検診を受ける方へ★

## ◎内 診

子宮、卵巣などに異常がないかを触診で調べます。

## ◎細胞診

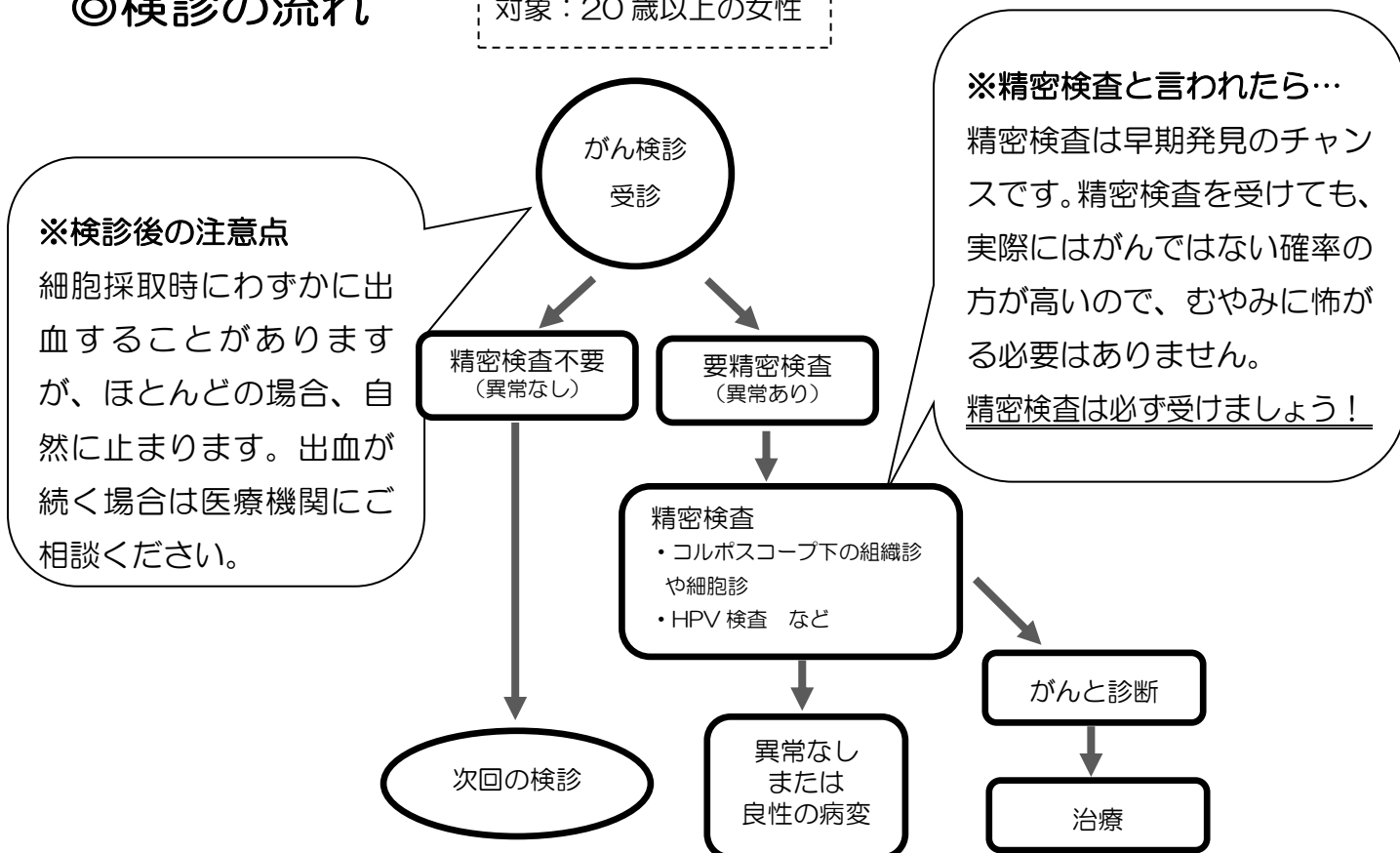
子宮頸部の細胞を専用の柔らかいヘラなどで擦り採り、顕微鏡で調べます。

※子宮がん検診で100%子宮頸がんを発見できるわけではありません。がんがあっても異常なしと判定されること（偽陰性）や、がんがなくても精密検査が必要となること（偽陽性）があります。



## ◎検診の流れ

対象：20歳以上の女性



## ◎精密検査について※コルポスコープ下の組織診や細胞診

膈内に器具を挿入し、子宮頸部を観察します。そして、病変疑いのある組織を数か所採取し検査（必要時、採取した組織でHPV検査を実施）をする方法です。

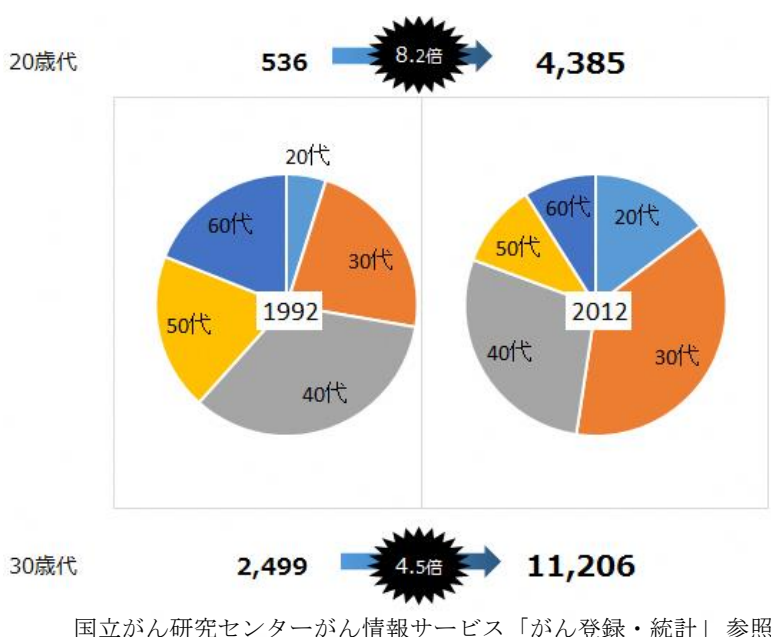
## ◎結果の通知について

検診結果は、約1か月後に郵送いたします。  
精密検査が必要な場合は、紹介状をお渡ししますので、保健センターにお越しください。よろしくお願いいたします。

裏面もご覧ください

## 20～30 歳代で増加している子宮頸がん

女性のがんの中で比較的多く(2011年には5位)、近年増加傾向にあります。



20年前と比べて、若い世代の子宮頸がんが増加しています。

しかし、子宮頸がんの進行は一般的にゆるやかであり、前がん状態(がんになる前の状態)からがんになるのに2～3年かかると言われています。

また、無症状の早期がんを発見し、治療をすれば、手術する範囲は少なく、経過も予後も良くなります。早期発見、早期治療のために2年に1回、検診を受けましょう。

## 再検査(不適正)について

子宮頸がん検診では、子宮頸部の細胞を採取し、検査を実施します。採取した細胞が必要数に満たない場合は、判定ができず「再検査(不適正)」となります。

## 検診の精度を保つために

効果的で精度の高い検診を実施するためには、みなさまの検診結果を正確に把握する必要があります。ご本人や精密検査医療機関に検診結果の追跡調査を行う場合があります。検診結果は市で集計した後、国に報告し、有効性の評価などに用いられます。これらはすべて個人情報保護法を遵守しており、前述の目的以外に使用することはありません。主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 2年に1回は検診を受けましょう！

子宮頸がん検診の受診間隔は2年度に1回です。定期的に検診を受けましょう。ただし、不正出血など自覚症状があるときは、すぐに専門医を受診しましょう。

四條畷市立保健センター (☎) 072-877-1231